



2021-2022

多治見市モザイクタイルミュージアム
年報 第4号

MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

2021-2022

多治見市モザイクタイルミュージアム
年報 第4号

MOSAIC TILE
MUSEUM
Tajimi



モザイクタイルミュージアム
MOSAIC TILE MUSEUM Tajimi

総括・挨拶

多治見市モザイクタイルミュージアムは、多治見市が設置したタイルを専門とする博物館類似施設であり、2016年の開館以来、タイル関係の企業が設立した一般財団法人たじみ・笠原タイル館が、指定管理者として管理・運営を担ってきました。その役割も2期目を迎えて多様化し、少しずつ変わりつつあることを感じています。

特に2022年はタイル産業の関係者にとって非常に重要な一年となりました。1922年、平和記念東京博覧会における全国のタイル業者の大会にて、「タイル」という言葉を統一的に使うと定めた記録が残されていることから、名称統一100周年と称して数々のイベントが開催されたのです。当館も所蔵している資料のことにとどまらず、タイル産業の関係者との連携はもちろん、他地域、異業種の方々ともつながることが増えました。タイル産業の「ポータル」として、あるいは様々な業界をつなぐ「ハブ」としての役割を担い始めたと言えます。

一方で2020年、ちょうど1期目を終える頃に新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、当館も体験工房の休止、段階的な入場制限や2度の臨時休館、企画展の延期や大幅な変更などを余儀なくされてきました。本誌を制作している2022年度の末になっても、その余波は続いています。このことによって、私たちは皆、改めて「博物館」の役割や在り方を見つめ直す機会を得たと考えることもできるでしょう。

今後もどのような変化が起こるか予測することはできません。一つ一つの企画を積み上げ、日々の業務を大切に、タイル産業の歴史や地域のあゆみに寄り添うような施設であり続けられればと願いつつ、本誌を刊行いたします。

2023年3月

多治見市モザイクタイルミュージアム

指定管理者 一般財団法人たじみ・笠原タイル館

目次

総括・挨拶	2
目次	3
多治見市モザイクタイルミュージアムとは	4
館内図	4
常設展示	5
企画展示 2021(令和3)年度[2021年4月～2022年3月]	6
企画展示 2022(令和4)年度[2022年4月～2023年3月]	11
一般財団法人たじみ・笠原タイル館 プロジェクト会議主催 定期事業	15
一般財団法人たじみ・笠原タイル館 プロジェクト会議主催 産業振興事業	16
一般財団法人たじみ・笠原タイル館 他施設協力・連携事業	17
新型コロナウイルス感染症対策	19
収蔵資料	21
収蔵施設移転事業	23
貸出業務	23
収集品選定評価委員会 要綱	24
収集品選定評価委員会	24
施設利用状況	25
刊行物、印刷物	27
主な広報活動	28
資料：組織	30
資料：建築概要	30
資料：条例	31
利用案内／アクセス	34

多治見市モザイクタイルミュージアムとは

2016（平成28）年6月、岐阜県の東南部に位置する多治見市笠原町に開館したタイルの博物館。同地は施釉磁器モザイクタイル発祥の地であり、現在では国内のシェア85%以上を誇るモザイクタイルの生産地です。地元の有志の方々は、20年以上にわたり自ら資料の収集に奔走し、博物館の設立へ尽力してきました。その活動に共感した建築家・藤森照信氏によるユニークな外観の建築は、タイルのファンのみならず多くの来場者を集めています。



モザイクタイルミュージアムのミッション

①モザイクタイルの魅力を伝える。

小片を寄せ合わせ絵（図像）や模様を表すことによって、不思議な美しさ、懐かしさを作り出すモザイクタイルの魅力を伝えます。

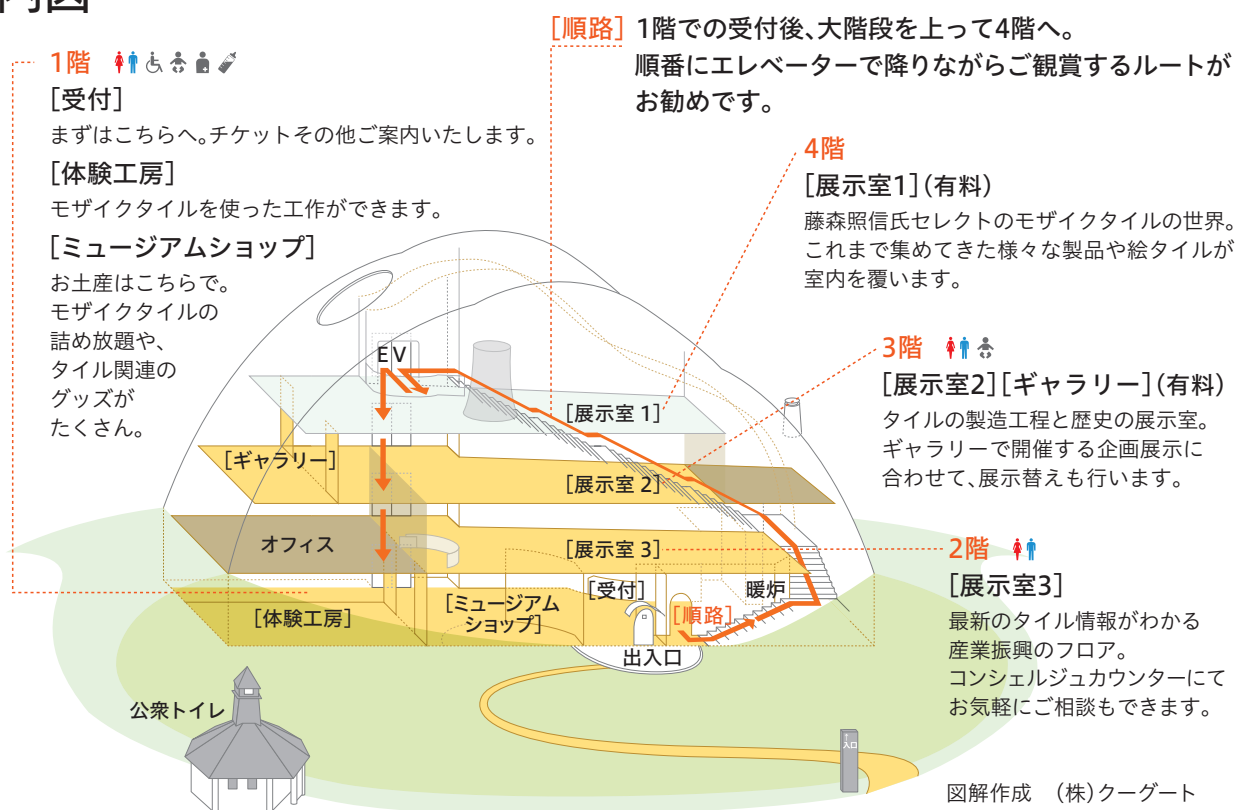
②「発見」⇒「交流」⇒「発信」する。

モザイクタイルの小片を集めるように、あるいは暮らしの中にタイルを見つけるように、様々な出来事に目を向け、つなげ、豊かな未来絵図を描いていきます。

③地域を元気にする。

この豊かなタイルの文化を地域の誇りとして、モザイクタイルのあるスタイルを世界に発信していきます。

館内図



常設展示

モザイクタイルミュージアム 1 階にはミュージアムショップと体験工房、2 階から 4 階までに 3 つの展示室があり、各階でタイルの異なる表情を感じることができます。

4 階

藤森照信氏がディレクションした、非日常的なタイルの空間。床から天井まで白いタイルに覆われた空間に、地元を中心とする各地から収集されてきたモザイクタイル画の壁面、銭湯の絵タイル、洗面台や浴槽などが設置されています。

3 階

モザイクタイルの製造工程や歴史がたどれるコレクション展示のコーナーと、年 3 回程度の企画展を開催するギャラリーがあり、コレクション展示も企画展のテーマに合わせて展示替えを行います。

- 1) モザイクタイルの製造工程
- 2) 笠原モザイクタイルの歴史
- 3) テーマ展示

2021年 3 月16日～7 月 4 日	タイルの作者とは
2021年 7 月10日～8 月22日	コレクション探訪
2022年 1 月12日～4 月 3 日	銭湯のモザイクタイル
2022年 4 月 5 日～9 月11日	新収蔵品より～旧蘇東銀行と日本タイル工業
2022年 9 月16日～2023年 1 月29日	新収蔵品より～モザイク壁画断片

- 4) 企画展示（6～14ページ）

2 階

一般財団法人たじみ・笠原タイル館が多治見市から賃借し、直接運営管理する産業振興エリアです。多治見市内で生産される製品や、その場で販売できる製品を展示し、協賛企業各社のカタログも閲覧できるようになっています。

1 階

体験工房では、常時来館者が体験できる工作のプログラムを運営しています。

通常プログラム

- ・ワンコイン工作（複数種類の小物から選び、モザイクタイルを接着剤で貼り付けて飾る工作）

企画展示

2021(令和3)年度[2021年4月～2022年3月]

タイル考～陶芸の視座より 6/27まで	開館5周年記念展 コレクション探訪 7/10～8/22	開館5周年記念展 藤森照信とモザイク タイルミュージアム 10/1～2022/1/10	国際陶磁器フェス ティバル 未来のタ イル・コンペティ ション応募作品展 2022/1/14～30	銭湯幻視～モザイク湯 コレクション探訪 with こだんみほ 2022/2/11～3/27
------------------------	-----------------------------------	--	---	--

●展覧会名 企画展「タイル考～陶芸の視座より」



会期／～6月27日まで

(前年度3月20日～土日祝入場制限)

来場者数／11,524人／2021年4月1日から74日間

(前年度含めた同展来場者総数14,138名／84日間)

招待した陶芸作家60人が、陶芸の視点に立脚しつつ、「タイル」というテーマのもと新作を出品しました。

出品作家(50音順、敬称略)／青木透、アサ佳、浅野哲、安藤千都勢、池田晶一、板橋廣美、伊藤慶二、伊藤秀人、井上雅子、伊村俊見、宇賀和子、内田鋼一、馬川祐輔、大久保陽平、小栗

寿賀子、小塩薫、加藤清之、加藤委、加藤仁香、加藤亮太郎、鴨頭みどり、川口淳、川端健太郎、北村純子、金憲鎬、(株)タクロウクワタ、齋藤まゆ、酒井紫羊、作元朋子、佐藤正士、柴田雅光、白木千華、鈴木秀昭、大道宏美、竹内真吾、田嶋悦子、田中陽子、津守愛香、徳田吉美、富田美樹子、長岡千陽、長澤和仁、中田雅巳、新里明士、馬場康貴、春田里美、日野田崇、正守千絵、松田百合子、松永圭太、松永泰樹、道川省三、十三代三輪休雪、村田彩、森正、森野彰人、山田晶、吉川千香子、吉川正道、渡邊太一郎

【記録集】企画展図録「企画展 タイル考～陶芸の視座より」

編集・発行／多治見市モザイクタイルミュージアム

写真・デザイン／小寺克彦

発行／2021年6月30日

規格／A5版、80ページ

【動画制作】

出品作家のうち、吉川正道、伊藤慶二、加藤清之のインタビューを10分程度にまとめた動画を製作しYouTubeチャンネルに公開。 制作／多治見市モザイクタイルミュージアム 編集／(株)ジフロ



吉川正道(再生回数約260回)／伊藤慶二(再生回数約350回)／加藤清之(再生回数約170回) 2023年2月時点

● 展覧会名 企画展「開館5周年記念展 コレクション探訪—モザイクタイルミュージアムができるまで」



会期／7月10日～8月22日
 ((土日祝入場制限) 当初9月5日までの予定が
 新型コロナ緊急事態による臨時休館のため変更)
 来場者数／10,423人／41日間

開館5周年という機会に、モザイクタイルミュージアム開館前の経緯をたどるとともに、収集活動の様子やモザイク浪漫館の写真などにより、タイルを集めるという活動の意義を改めて振り返りました。

【記録集】リーフレット「開館5周年記念展 コレクション探訪」

編集・発行／多治見市モザイクタイルミュージアム

デザイン／上田英司、鬼川いおり（シルシ）

規格／A5版（A3ポスター4つ折り）



●展覧会名 企画展「開館5周年記念 藤森照信とモザイクタイルミュージアム」



【関連企画】

・「藤森照信とモザイクタイルミュージアム展」
開催記念対談

日程／11月14日(日) 午後1時30分～5時

場所／笠原中央公民館 アザレアホール

参加費／無料

参加者数／約300名

その1「路上観察と多治見とやきもの」藤森照信×安藤雅信（陶作家、ギャラリーももぐさ主宰）

その2「モザイクタイルミュージアムの建築をめぐって」藤森照信×村瀬良太（建築史家）

後日、動画を編集してYouTubeチャンネルに公開、2023年1月末時点で約520回再生。

後援／多治見市、多治見市教育委員会

助成／芸術文化振興基金

協賛企業／株式会社吉川組、櫻井建設株式会社、株式会社加藤組、株式会社エクシズ、元旦ビューティ工業株式会社、多治見市美濃焼タイル振興協議会、笠原町商工会、株式会社 大和設備、トーノーセキュリティ、小境電気工事 株式会社、五十嵐工業株式会社、株式会社 福三、有限会社 長尾造園、株式会社エイ・ケイ設計、東濃信用金庫笠原支店、株式会社大和工芸、東濃鉄道株式会社、株式会社丹青社、株式会社クーグート、株式会社 ジフロ、株式会社 3WAY、笠原陶磁器工業協同組合、協同組合ケーエスジー、岐阜県窯業原料協同組合、御菓子司陶勝軒、有限会社キューピー商店、マルナカストアー有限会社

国際陶磁器フェスティバル美濃'21協賛企画

会期／10月1日～22年1月10日

（当初9月18日からの予定が臨時休館のため変更。

（土日祝入場制限、12月に予約制解除）

来場者数／19,472人／83日間

藤森照信氏がモザイクタイルミュージアムの建築をどのように考えたか、スケッチやサンプル、モックアップの再現等で辿りました。



【記録集】企画展図録「藤森照信とモザイクタイルミュージアム」

発行／多治見市モザイクタイルミュージアム

編集・文／村山閑、村瀬良太

写真／増田彰久、小寺克彦、岩瀬有奈、児島章次

デザイン・制作／高橋佳介、森田和美（株式会社クーグート）

発行／2021年9月16日

規格／A5版、88頁

【動画制作】

「藤森照信とモザイクタイルミュージアム展」オンライン建築ツアー「モザイクタイルミュージアムができるまで」

無観客にて動画を制作してYouTubeにて公開、2023年1月末時点で約1,080回再生。

出演者／村瀬良太（建築史家）、曾根信治（吉川組）、水野秀利（エイ・ケイ設計）



●展覧会名 国際陶磁器フェスティバル美濃関連企画「未来のタイル・コンペティション応募作品展」



会期／2022年1月14日～1月30日

（体験工房のみ土日祝予約制）

来場者数／1,803人／15日間

国際陶磁器フェスティバルの関連企画として、同実行委員会主催で開催された「未来のタイル・コンペティション」の受賞作品、応募作品を展示しました。

（コンペの詳細はP17連携事業を参照）

●展覧会名 コレクション探訪 with こだんみほ「銭湯幻視—モザイク湯」



会期／2022年 2月11日～3月27日

(体験工房のみ土日祝予約制)

来場者数／8,870人／39日間

【関連企画】

- ・ワークショップ「こだんみほさんとタイル柄のノートを作ろう」

講師／こだんみほ（アーティスト）



銭湯等のタイルを描いてレジンによってタイルの質感を出すアーティスト、こだんみほさんの作品と、当館のコレクションとのコラボレーション。今回は初めての試みとして、作家が、当館の収蔵品データベースへアクセスして新作の参考に利用するという方法をとりました。この取り組みはデータベースシステムを管理運営する早稲田システム開発の機関誌に紹介されました。



日程／3月19日(出)、20日(日) 午前10時～、午後1時30分～（各日）

場所／笠原中央公民館会議室

参加費／1,000円

参加者／19日／8名、20日／14名



企画展示

2022(令和4)年度[2022年4月～2023年3月]

タイル名称統一100年記念 「タイル」までのプロローグ 4/9～9/4	タイル名称統一100周年 巡回企画展 日本のタイル 100年 9/17～2023/1/29	タイル名称統一100年記念 タイルのまちをあるいてみた studio record 2023/2/18～5/7
---	--	--

- 展覧会名 タイル名称統一100年記念企画展「「タイル」までのプロローグ―手わざの時代の陶磁製建築装飾」



会期／4月9日～9月4日
(体験工房のみ土日祝予約制)
来場者数／40,956人／128日間

大正11年(1922)に平和記念東京博覧会で「タイル」という名称統一が行われてから100周年を記念して、統一前の明治・大正時代の手わざが生かされたタイルを、大阪歴史博物館、滋賀県立陶芸の森陶芸館、多治見市美濃焼ミュージアム等の資料を用いて紹介しました。



会場写真：山田写真製版所

【記録集】小冊子『企画展「タイル」までのプロローグ』

編集・発行／多治見市モザイクタイルミュージアム
写真・デザイン／株式会社山田写真製版所
発行／2022年6月

【関連企画】

- ・つくり場@ミュージアム～モザイク・ベンチづくり～

協力／モザイク会議

日程／9月2日会場設営(見学可)、9月3日～4日午前10時～午後4時

場所／モザイクタイルミュージアム 2階

参加費／200円 参加者／43名



●展覧会名 タイル名称統一100周年記念 巡回企画展「日本のタイル100年 美と用のあゆみ」



「タイル」名称統一100周年を記念し、常滑のINAXライブミュージアム、東京の江戸東京たてもの園との共同企画で実施した巡回企画展。モザイクタイルミュージアムでは、第一会場として企画の第1章、第2章に該当する名称統一までを展示。第二会場的美濃焼ミュージアムでは、100年間の日本のタイルを巡るエピソードを紹介しました。



監修／藤森照信

企画／INAXライブミュージアム、多治見市モザイクタイルミュージアム、江戸東京たてもの園
多治見会場主催／多治見市モザイクタイルミュージアム

同共催／多治見市美濃焼ミュージアム

会期／9月17日～2023年1月29日

(体験工房のみ土日祝予約制)

来場者数／27,259人／111日間(第二会場との合計 31,969人、うち、共通券購入枚数 2,468枚)
会期中限定2会場共通券(500円)を発行

【関連企画】

- ・みる×つくる 折り紙建築と特別ツアー
名古屋市市政資料館の建築を表現するペーパークラフトのワークショップと見学会を開催。
日程／9月18日(日) 1回目：午前10時～



2回目：午後2時～

主催／多治見市モザイクタイルミュージアム

共催・場所／名古屋市市政資料館

講師／笥清澄(建築家)、村瀬良太(建築史家)



- ・ 2会場を巡るギャラリートーク・ツアー
2つの会場をつなぐ学芸員のギャラリートーク付きバスツアー。

日程／9月19日、23日、25日、10月10日、11月13日

主催／多治見市モザイクタイルミュージアム

共催／多治見市美濃焼ミュージアム



- ・ うつわをつくる ＊タイルでアクセント！＊
日程／1回目：9月24日 午後2時～3時30分
タイルでうつわにもようをつける

対象／小学生以上

2回目：11月19日 午後2時～3時30分

タイルで器に命を宿す

対象／中学生以上

主催／多治見市モザイクタイルミュージアム

講師／岩井利美（美濃焼ミュージアム館長）

参加費／1,000円



- ・ INAXライブミュージアム協力企画「光るどろだんご」

日程／2022年10月29日 ①午後1時～

②午後2時30分

主催／多治見市美濃焼ミュージアム

場所／多治見市美濃焼ミュージアム

参加費／900円

- ・ シンポジウム「建築とタイル 双方向の対話は可能か」

建築家・建築史家と本展の企画者が、これまで建築家がどのようにタイルを使ってきたのか、どのような使われ方が評価されてきたのかを振り返り、これからのタイルの在り方や展望を語り合いました。

日程／令和4年11月23日(水)・(木) 午後2時～4時

主催／多治見市モザイクタイルミュージアム

場所／笠原中央公民館会議室

講師／笠原一人（建築史家、京都工芸繊維大学助教）、倉方俊輔（建築史家、大阪公立大学教授）、後藤泰男（INAXライブミュージアム主任学芸員）、高岡伸一（建築家、近畿大学准教授）



【企画展図録】タイル名称統一100周年記念 日本のタイル100年 美と用のあゆみ

企画／INAXライブミュージアム、多治見市モザイクタイルミュージアム、江戸東京たてもの園

監修／藤森照信

編集／佐藤恵美、坂井基樹＋田中真利（坂井編集企画事務所）

発行／INAXライブミュージアム

2022年4月12日

●展覧会名 企画展「タイルのまちをあるいてみた studio record」



主催／多治見市モザイクタイルミュージアム
企画協力／スタジオレコード
協力／イビケン株式会社、岐阜県セラミックス
研究所、森ビル都市企画株式会社（WORLD
DESIGN CITY GIFU・アクティブG）
会期／2023年2月18日～5月7日（予定）

第12回国際陶磁器展美濃において、タイルの作品で銀賞を受賞した「スタジオレコード」による企画展。代表者の宮部友宏氏に、多治見市笠原町を中心に、東濃地域のタイル生産現場を改めて歩いていただき、感じたことや考えたことを作品と展示によって表現していただきました。産業の関係者や研究施設とも協働し、タイルの新しい可能性を示す、意欲的な展示になっています。

【関連企画】

・黒板タイル作り

黒板として使えるタイルをパターンを意識しながら立体的に貼り、どこにもない黒板を作ります。

開催日時／3月21日(火)・(祝)

会場／多治見市笠原中央公民館 定員／20名

講師／高山愛（陶芸家、スタジオレコードマネージャー）、森川昌美（陶芸家、スタジオレコード）

・リサイクル・タイルのワークショップ

不要になったタイルは粉碎されまた原料に戻ります。その粉碎途中の物をクラッシュタイルとして利用するワークショップです。

開催日時／3月26日(日)

会場／アクティブG（岐阜市） 定員／20名

講師／小澤順一（陶芸家、スタジオレコード講師）、樋口実奈海（陶芸家、スタジオレコード）

・アースポット・ワークショップ

開催日時／4月15日(土)（予定）

会場／岐阜県セラミックス研究所（多治見市）

定員／15名

講師／加藤真美（陶芸家、愛知県立芸術大学非常勤講師、とこなめ陶の森研修工房講師、スタジオレコード講師）

・循環する大地：再生原料を使ったワークショップ

開催日時／5月3日(水)・(祝)（予定）

会場／岐阜県セラミックス研究所（多治見市）

定員／15名

講師／宮部友宏（陶芸家・造形作家、スタジオレコードディレクター）、小稲彩人（岐阜県セラミックス研究所主任専門研究員）

【記録集】2023年度に制作

一般財団法人たじみ・笠原タイル館 プロジェクト会議主催

定期事業

1. 開館周年記念タイルプレゼント



・開館5周年記念

2021年6月4日より約1か月

配布数／3,000枚

ロゴマークの一部をデザインした開館5周年記念タイルを制作して、有料入館者に配布しました。

また、5周年の節目として、開館以来の記念タイル5枚をそろえて飾ることができる「見本台紙」を製作、販売しました。



・開館6周年記念

2022年6月4日より約1ヶ月

配布数／1,000枚

今年度から新たに、モザイクタイルミュージアムにゆかりのある芸術家、デザイナーなどに周年記念タイルのデザインを依頼。初回として藤森照信氏が描いたミュージアムのスケッチを、100角のタイルに転写しました。

2. ナイトミュージアム

・「藤森照信展開催記念対談」後の特別観覧

日時／2021年11月14日 ①17:00～ ②17:30～ ③18:00～ 入場者数／58名

藤森照信とモザイクタイルミュージアム展開催記念対談開催時に、閉館後の展示室を開放し来場者と交流しました。

・ナイトミュージアム～音と星めぐりの旅～

日時／2022年9月17日(土) 18時30分～19時30分

出演／安藤よしの（フルート）、小川真騎子（ハープ）、小林哲（コントラバス）、水野妃佐子（メゾソプラノ）

会場／モザイクタイルミュージアム4階展示室 参加費／1,000円 参加者／50名

カルテットによるコンサートを開催しました。

3. タイルパネルプレゼント

2階展示室で展示していたタイルパネルを希望者に抽選でプレゼントしました。

・2021年6月1日～8月21日「タイルに負けないキャンペーン」パネル数51点 応募総数1,381

・2022年5月12日～6月30日「タイル名称統一100周年記念」パネル数144点 応募総数1,412

産業振興事業

1. 2階産業振興エリア解説動画制作（2021年度）

2階の16のブースをデザインした4人のデザイナーが、各担当ブースについて解説している動画を制作し、YouTubeチャンネル及び館内設置のQRコードから視聴できるように設定しました。

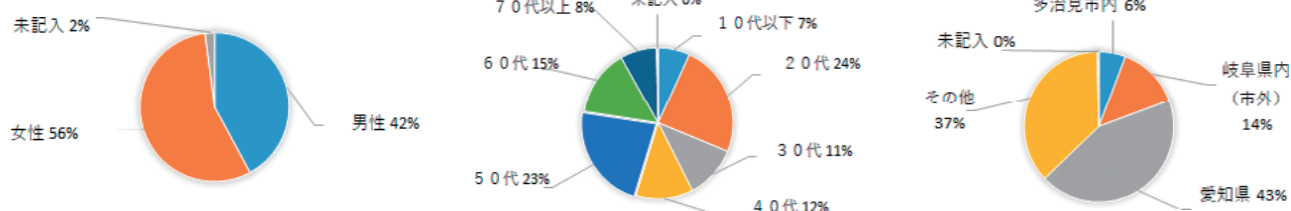
2. タイル名称統一100周年アンケートキャンペーン（2022年度）

期間／4月26日～6月29日（平日） 実施場所／2階産業振興エリア

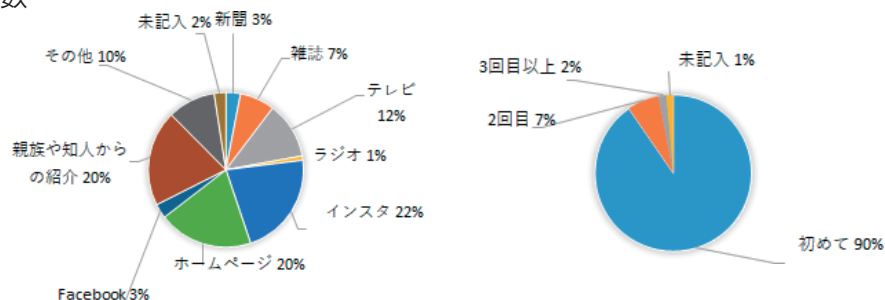
タイルに対する関心や購買欲を調査するためのアンケートを実施しました。結果として、来館者層の分析と共に、タイルに関心がなかった方と使い方がわからない方が半数以上を占めること、来館後にタイルに対する印象が変わったこと等が明らかになりました。

アンケート結果（抜粋） 回答人数 292人

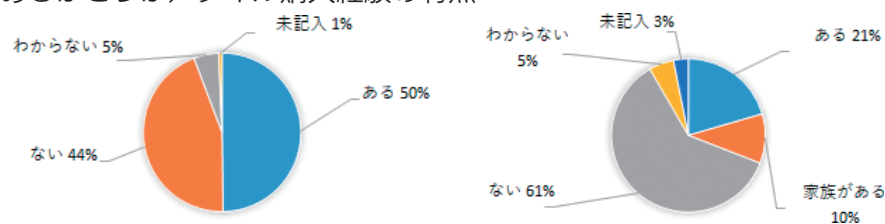
性別／年齢／住所



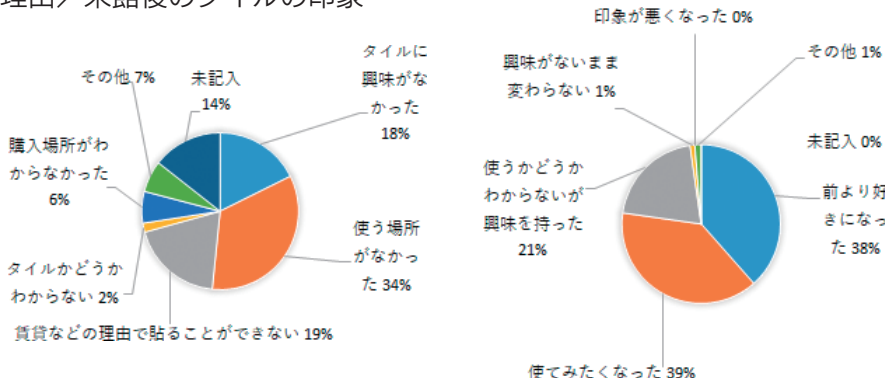
情報源／来館回数



自宅にタイルがあるかどうか／タイル購入経験の有無



購入経験がない理由／来館後のタイルの印象



一般財団法人たじみ・笠原タイル館 他施設協力・連携事業

1. 国際陶磁器フェスティバル美濃'21 未来のタイルコンペティション

2020年から延期となり、2021年に国際陶磁器フェスティバル関連事業として実施されたタイルのコンペティションにおいて、運営、審査、及び受賞作品の展示等について協力しました。

高校・高専部門「タイルデザイン甲子園」募集期間2021年4月1日～5月21日

自由な発想による斬新なタイルのデザインを募集し、タイル産業にかかわる方々によって審査が行われました。優秀賞の2点は実際にやきもののタイルとして形にしました。応募件数177点

小中学生部門「キッズ・コンペ～君の描くみらいのタイル～」募集期間2021年6月1日～8月16日

こんなタイルがあったらいいなというアイデアを募集しました。審査員が入選作品30点を選び、インターネット上での人気投票によってグランプリ・金賞を決定しました。応募件数915点

2. 多治見市ボランティアガイドに向けたモザイクタイルミュージアム・ガイダンス

市内を訪れる観光客の案内を担う「観光ボランティアガイド」を対象としたガイダンス。参加者約30人

- ・2021年4月20日 産業文化センターにおいてガイドの要点をスライドレクチャー
- ・2021年5月18日 モザイクタイルミュージアムにおいて現地案内

3. 岐阜県立多治見北高等学校「図書館講座」出張講座

多治見北高の図書館司書からの依頼により、タイルの歴史などを伝えるスライドレクチャーと、詰め放題や工作によって、高校生がタイルに触れる機会を作りました。参加者約20人

- ・2021年5月24日 スライドレクチャーとタイル詰め放題
- ・2022年11月25日 スライドレクチャーと写真立てのタイル工作

4. たじミュージアム やきものの再発見

多治見市陶磁器展示5施設共同展示

会期／2021年8月18日～8月22日（当初8月29日までの予定が臨時休館により短縮）

会場／ヤマカまなびパークオープンギャラリー

主催／多治見市陶磁器意匠研究所、多治見市文化財保護センター、多治見市美濃焼ミュージアム、
多治見市文化工房ギャラリーヴォイス、多治見市モザイクタイルミュージアム
ギャラリートーク 8月21日は中止となりました。

5. 産学連携事業 モザミュータイルラボ・リレープロジェクト

プレ企画展 会期／2022年11月15日～2023年1月29日

会場／2階展示室産業振興エリア 参加者／学生約20人、企業18人

2023年度から2028年度までの5か年計画として、大学とタイル業界との交流を目的とした連携事業を計画。2022年度はその準備段階として、名城大学谷田真氏の研究室、名古屋芸術大学西岡毅氏の授業受講生による「プレ企画展」を実施しました。展示に向けては、各学生が工場の視察やタイルに触れる機会を設け、企画展初日には学生によるクロストークと業界関係者との交流会を設定しました。

6. タイル名称統一100周年事業

1922年に「タイル」という名称に統一することが宣言されてから100年を記念して、全国タイル工業組合や多治見市美濃焼タイル振興協議会が実施する事業の告知、記録、資料提供等、並びに関連事業の実施等により連携・協力しました。

- ・アーカイブ用映像の撮影 関係各社が実施する事業をアーカイブ化できるように、ミュージアムとして随時撮影しました。 撮影：株式会社ジフロ
- ・ホームページ特設ページ 町内で有志が実施する関連事業を告知できるよう、ホームページ上にタイル名称統一100周年特設ページを設置しました。
- ・「タイル100年祭」での出品協力（岐阜会場：セラミックパーク MINO 2022年11月5日、6日、東京会場：ドットコムスペース原宿 2023年1月27日、28日）
主催：多治見市美濃焼タイル振興協議会、全国タイル工業組合
- ・サイクリング&タイル工場見学ツアー：タイル名称統一100周年記念として協賛。社団法人多治見市観光協会と連携し、同社が実施するサイクリングツアー事業のひとつとして、モザイクタイルミュージアムの見学と、近隣のタイル工場見学及び体験を行える少人数のツアーを実施しました。
- ・「ストリート・モザイク」プロジェクト：タイル名称統一100周年記念として協賛。社団法人多治見市観光協会と連携し、ながせ商店街、駅前商店街の店舗にモザイクアートを設置する事業。デザインの提供、ワークショップの開催に際しては、全国のモザイクアーティストが集まる「モザイク会議」の協力を得て、施工については地元の左官職人の協力を得ました。
参加：11店舗
ワークショップ：1月17日、18日
施工：2月21日
講師：喜井豊治、松本春子
協力：若俊左官店
- ・タイル産業データベース事業：タイル名称統一100周年を契機に社団法人多治見市観光協会と連携し、モザイクタイルミュージアム協賛企業約50社を手掛かりとして、タイル産業関連の一覧表示をホームページに掲載できるよう、各社の基本情報、見学や購入、体験の可否などの調査、取材を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策

対応の経緯

- 2021年 4月23日 岐阜県、県独自の非常事態宣言を発表。多治見を含む9市を対象に、国に対して蔓延防止等重点措置を要請。
- 4月25日 東京、大阪、京都、兵庫に対して緊急事態宣言を発令
- 4月30日 嘱託職員に陽性反応。5月1日、2日は臨時休館となる。
- 5月3日 再開館。濃厚接触者は2週間の自宅待機。
- 5月7日 緊急事態宣言の期限を31日まで延長。12日から愛知県、福岡県を加え、岐阜県等に蔓延防止等重点措置。
- 5月9日 岐阜県に蔓延防止等重点措置適用される（多治見市も対象地域）。
- 5月17日 岐阜県、緊急事態宣言対象地域に追加要請。
- 5月24日 岐阜県、岐阜市で独自の緊急事態宣言。岐阜市内の公共施設を休館とする。
- 6月20日 蔓延防止重点措置適用の5県のうち、岐阜県、三重県は解除され、7都道府県が蔓延防止重点措置へ移行。
- 7月1日 多治見市、「美濃焼GOやくもぶらす」キャンペーン開始
- 7月12日 8月22日まで東京で緊急事態宣言を発出。
- 7月23日 東京五輪、開幕。
- 8月2日 緊急事態宣言の適用地域について、6都府県に拡大
- 8月6日 多治見市、「美濃焼GOやくもぶらす」キャンペーン終了
- 8月8日 東京五輪、閉幕。まん延防止等重点措置の適用地域に静岡、愛知等の8県を追加。
- 8月17日 岐阜県、新規感染者数300人を超え、これまでの最多数を倍以上に更新。8月20日～9月12日まで、緊急事態宣言の対象地域に7府県を追加、まん延防止等重点措置を岐阜などの10県に適用。
- 8月20日 岐阜県美術館等、岐阜市内の公共施設9月12日まで臨時休館。東濃五市独自の緊急事態宣言。
- 8月22日 特集展示「コレクション探訪」、並びにまなびパークにおける5施設共同企画展終了。
- 8月23日 モザイクタイルミュージアム、9月12日までの臨時休館。
- 8月25日 東京パラリンピック開幕。
- 8月27日 岐阜県、愛知県など8道県が緊急事態の対象地域に追加
- 8月30日 国際陶磁器フェスティバル関連企画未来のタイルのキッズコンペ、入選作品審査をオンラインに変更。
- 9月9日 岐阜県を含む19都道府県で緊急事態宣言を9月末まで延長決定
- 9月10日 モザイクタイルミュージアム臨時休館が9月30日まで延長と決まる。
- 9月30日 国際陶磁器フェスティバル開幕、名誉総裁の挨拶等はオンライン。緊急事態宣言解除

- 10月1日 モザイクタイルミュージアム、開館前と同じ体制で再開館
- 11月25日 多治見市と12月後半からの体制について調整。
- 12月14日 体験工房の席数について、1回あたり9組まで受付開始。
- 12月18日 土日祝日、予約なしで入館受付開始。
- 2022年1月21日 当館体験工房の席数を1回あたり5組に戻す。連絡票の記入を再開。多治見市「き」業展中止。蔓延防止措置、岐阜、愛知を含む16の都県へ2月13日までとして適用。
- 2月10日 岐阜県を含む13都県で蔓延防止措置延長。(3/6まで)
- 3月19日 21日までで岐阜県も蔓延防止解除が正式に決まる。
- 3月23日 体験工房の席数について、1回あたり9組まで受け入れ。
- 4月26日 全国知事会、大型連休を前に新型コロナ緊急提言
- 4月29日 入場制限なしで大型連休を迎える。
- 5月3日 1日の来館者数が1,000人を超える。(翌日も同様)
- 6月10日 市産業観光課と打合せ、6月14日からの体験工房平日予約制解除。詰め放題の手袋着用を任意に変更。
- 7月8日 全都道府県で前週より新規感染者増加
- 7月13日 政府、全国旅行支援の実施を延期、県民割りを延長。
- 7月14日 市産業観光課と打合せ、8月も受け入れ態勢に変更なしとする
- 7月20日 財団職員、濃厚接触者として自宅待機、後に陽性となる。
- 7月26日 岐阜県で新規感染者3400人を超えて過去最多。
- 7月27日 全国の新規感染者が20万人を超える。
- 7月29日 政府、都道府県でのBA.5対策強化宣言導入を決定
- 8月2日 岐阜県で新規感染者4500人を超えて過去最多。
- 8月5日 岐阜県、岐阜県BA.5対策強化宣言(9月30日まで)
- 8月11日 行動制限を伴わないお盆休み、帰省ラッシュ始まる
- 9月1日 体験工房、平日のみ予約制解除。
- 9月9日 全都道府県で感染者数減少傾向
- 12月21日 全国の新規感染者、4ヵ月ぶりに20万人を超える。
- 12月23日 岐阜県、医療逼迫防止対策強化宣言。全国知事会、年末年始医療逼迫を懸念し、国に緊急提言
- 12月24日 嘱託職員、濃厚接触者となり、自宅待機。
- 2023年1月5日 岐阜県の新規感染者数、5600人を超えて過去最多を更新。
- 1月26日 新型コロナ5類移行を5月8日目途とする。
- 2月5日 岐阜県、「岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言」の終了
- 2月10日 政府決定で、マスク着用は3月13日から個人の判断と発表
- 2月16日 多治見市産業観光課とコロナ対策に関する会議、体験工房の土日祝予約制は当面継続。マスク着用や検温消毒は、3月13日から強制しない方向とする。

収蔵資料

資料については、収集品選定評価委員会を設置し、主に寄贈、寄託の受け入れを行っています。

資料収集の基本方針	
ア) 笠原町が窯業、特にタイル生産の一大集積地であることから、モザイクタイルを中心とした建築用陶材等、地域産業の歴史・文化的要素を発信できる資料を収集すること。	イ) 笠原町をはじめとする国内のタイル・窯業関連資料、またはタイル・窯業にかかわりをもつ人物、事業者等、その功績や実績を象徴するような資料を収集すること。

2021年度新規収蔵品

寄託 1件追加、寄贈 計36件

寄託					
整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元（作者）
2021-0101	洗濯石鹸「サンライト」の販促カレンダー	1	1933年	8-02	英・リーヴァー・ブラザーズ社

寄贈					
整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元（作者）
2021-0001	モザイクタイル図面登録申請書	1	不明	7-07	社団法人日本陶磁器意匠センター
2021-0002	タイル 白・黒・青	3	2021年	8-01	伊藤慶二
2021-0003	囊 21-T 1	4	2021年	8-01	伊村俊見
2021-0004	montage (yin-yang)	4	2021年	8-01	伊藤秀人
2021-0005	牡丹タイル	1	2021年	8-01	酒井紫羊
2021-0006	窓 (window)	4	2021年	8-01	松永泰樹
2021-0007	昆虫紋壁面装飾	1	2021年	8-01	加藤仁香
2021-0008	Blue × White／白雨	3	2021年	8-01	大道宏美
2021-0009	a waterfall	1	2021年	8-01	小栗寿賀子
2021-0010	Time Tile	4	2021年	8-01	田中陽子
2021-0011	光のアッサンブラージュ	1	2021年	8-01	小塩薫
2021-0012	漆蒔タイル	4	2021年	8-01	徳田吉美
2021-0013	Moss Tile	1	2021年	8-01	川端健太郎
2021-0014	磁土の形	1	2021年	8-01	加藤清之
2021-0015	象嵌彩色タイル	3	2021年	8-01	竹内真吾
2021-0016	Sizuku一雫	4	2021年	8-01	吉川正道
2021-0017	タイル	6	2021年	8-01	金憲鎬
2021-0018	波流紋角盤	1	2021年	8-01	池田晶一
2021-0019	フラミンゴ	1	2021年	8-01	井上雅子
2021-0020	Fragment	4	2021年	8-01	齋藤まゆ
2021-0021	一隅	1	2021年	8-01	北村純子
2021-0022	歴史的思考	3	2021年	8-01	浅野哲
2021-0023	BOUNDARY	2	2021年	8-01	長澤和仁
2021-0024	はな	2	2021年	8-01	田嶋悦子
2021-0025	色絵金銀彩Cosmic コラージュ Tile 額	1	2021年	8-01	鈴木秀昭
2021-0026	CRATER A/CRATER B	2	2021年	8-01	板橋廣美

整理番号	名称	個数	年代	分類番号	製造元（作者）
2021-0027	無題	2	2021年	8 -01	馬場康貴
2021-0028	雪嶺	4	2021年	8 -01	十三代三輪休雪
2021-0029	アラベスク	3	2021年	8 -01	松田百合子
2021-0030	Cut ピース	1	2021年	8 -01	加藤委
2021-0031	ホテルナゴヤキャッスルロビーモザイク壁画 「昼と夜の対話」部分 (提供：株式会社ナゴヤキャッスル)	1	1969年	6 -03	デザイン：脇田和
2021-0032	旧蘇東銀行 外壁二丁掛タイル (提供：中島醸造株式会社)	1	大正～ 昭和初期	6 -03	不明
2021-0033	旧蘇東銀行 1階カウンター二丁掛タイル (提供：中島醸造株式会社)	1	大正～ 昭和初期	6 -03	日本タイル工業株式会社
2021-0034	旧蘇東銀行 2階浴室床モザイクタイル (提供：中島醸造株式会社)	1	大正～ 昭和初期	6 -03	不明
2021-0035	中島醸造貯水塔 蓋部モザイクタイル (提供：中島醸造株式会社)	1	大正～ 昭和初期	6 -03	不明
2021-0036	山口銀行名古屋支店 モザイク壁画「城を築く」断片 (提供：株式会社山口銀行)	1	1966年	6 -03	デザイン：中村順平（建築家）



伊藤慶二＜タイル 白・黒・青＞



旧蘇東銀行タイル（中島醸造株式会社寄贈）
（撮影：山田写真製版所）

2022年度新規収蔵資料

寄贈 計28件（3月に選定評価の見込み）

収蔵施設移転事業

2023年度に、多治見市による笠原中央公民館の改修とアザレアホールの解体に伴い、同館地下に保管されていた収蔵資料を搬出し、多治見市が指定する施設（旧笠原クリーンセンター）に収める事業を実施しました。

2021年6月 収蔵資料の現状確認

2021年9月 請負業者の決定、打合せ

収蔵用スチール棚新規設置、一部資料の移動開始

2021年10月～12月 移動作業

貸出業務

- 企画名：「静坐社展」（会場：京都・出町座） 貸出先：個人
資料名：「静坐社レリーフタイル」 期間：2021年9月22日から10月6日まで
- 企画名：展示会「ジャパンホームショー」全国タイル工業組合小間内（会場：東京ビッグサイト）
貸出先：全国タイル工業組合 資料名：山内逸三「モザイクタイル」
期間：2021年11月15日から11月21日まで
- 企画名：巡回企画展「日本のタイル100年—美と用のあゆみ」
貸出先①：INAX ライブミュージアム 資料名：山内逸三「レリーフタイル」等10件
期間：2022年4月5日から9月1日まで
貸出先②：多治見市美濃焼ミュージアム（多治見展第二会場として）
資料名：上記に加えて伊藤慶二《タイル》等 計23件
期間：2022年9月6日から2023年1月31日まで
貸出先③：江戸東京たてもの園 資料名：山内逸三「レリーフタイル」等 計16件
期間：2023年2月1日から9月8日まで（予定）
- 目的：新商品タイルの作家共同開発のため 資料名：齋藤まゆ《Fragment》
貸出先：TN コーポレーション 期間：2022年3月23日から3月25日まで
- 企画名：セラミックバレー展「タイル百年祭」（会場：セラミックパーク MINO）
資料名：モザイクベンチ2台 貸出先：協同組合ケーエスジー
期間：2022年11月4日から11月7日まで
- 企画名：企画展「タイルのまちをあるいてみた」準備のため（会場：モザイクタイルミュージアム）
資料名：貼り板 40点 貸出先：スタジオレコード
期間：2022年12月9日から2023年2月15日まで（その後、3F展示室内に搬入）

収集品選定評価委員会 要綱

- 第1条 多治見市モザイクタイルミュージアム（以下「ミュージアム」という）における美術品及びタイル関連資料等収集品（以下「収集品」という）の購入、寄贈、寄託の受入れ（以下「収集」という）について、審査及び評価を行い、その適正を期することを目的として、ミュージアム収集品選定評価委員会をおく。
- 第2条 委員5人以内で組織する。
- 2 委員は、学識経験を有する者の内から館長が委嘱する。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。委員が欠けた場合においては、補欠委員の任期は前任者の残存期間とする。
- 第3条 収集品は別に定めるミュージアム美術品等収集方針によるものとする。
- 第4条 収集品選定評価委員会に委員長をおき、委員の互選によってこれを定める。
- 第5条 収集品選定評価委員会は、委員長が召集する。
- 2 収集品選定評価委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の時は委員長の決するところによる。
 - 3 緊急を要する収集品の場合には、書類による審査を実施できるものとする。

収集品選定評価委員会

- 3期 2020・2021（令和2・3）年度
- 瀬口哲夫（名古屋市立大学名誉教授）
- 武藤忠司（瀬戸蔵ミュージアム館長）
- 深井明比古（兵庫県立考古博物館名誉学芸員）

施設利用状況

1. 年間月別来館者数（2021年度）

(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
開館日		26	24	26	27	19	0	27	25	24	24	24	27	273	—
有 料	一般	3,569	3,051	3,092	4,479	4,496		4,858	4,941	3,147	2,768	3,042	5,380	42,823	156.86
	団体	10	14	18	91	25		79	79	82	13	15	136	562	2.06
	年パス	0	1	3	0	0		5	0	5	2	1	2	19	0.07
	年パス 2回目以降	55	12	30	20	18		30	18	9	11	10	32	245	0.90
	国際陶磁器 フェス							1,646	223	164	0	0	0	2,033	
有料合計人数		3,634	3,078	3,143	4,590	4,539	0	6,618	5,261	3,407	2,794	3,068	5,550	45,682	167.33
無 料	小学生	495	365	255	754	1,044		714	628	453	598	374	628	6,308	23.11
	中学生	37	28	38	71	133		45	34	28	68	11	107	600	2.20
	高校生	78	24	24	55	135		45	32	31	23	24	160	631	2.31
	一般招待	69	22	38	26	12		39	46	28	35	15	29	359	1.32
	2階まで	196	132	136	186	175		113	160	143	158	159	242	1,800	6.59
	障がい者 (付添含む)	78	74	68	149	100		145	150	77	66	51	119	1,077	3.95
無料合計		953	645	559	1,241	1,599	0	1,101	1,050	760	948	634	1,285	10,775	39.47
有料+無料合計人数		4,587	3,723	3,702	5,831	6,138	0	7,719	6,311	4,167	3,742	3,702	6,835	56,457	206.80
1日平均人数		176.42	155.13	142.38	215.96	323.05	0.00	285.89	252.44	173.63	155.92	154.25	253.15	206.80	—

(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均
体験人数合計		955	770	777	1,150	1,159	0	1,115	1,025	931	984	802	1,503	11,171	40.92

※臨時休館 8月24日～9月30日（38日間）

※2022年度は次号に掲載

2. 団体及び主な視察

2021年度 月別団体来館者数まとめ

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体来場者数	109	36	28	169	96	0	236	339	279	79	0	152	1,523
団体数	10	2	2	7	9	0	8	20	11	2	0	9	80
見学回数	10	2	2	7	8	0	8	18	11	2	0	9	77
体験回数	1	0	0	2	6	0	0	8	3	1	0	2	23
解説回数	7	2	1	3	4	0	4	8	2	3	3	3	40

主な視察

2021年度 日本青年会議所窯業部、名古屋芸術大学、福井県立大学経済学部、芝浦工業大学、鈴鹿市長、石川県九谷焼技術研修所、立命館大学建築学科、東京大学工学部建築学科ほか

2022年度 和歌山北ロータリークラブ、京都工芸繊維大学、中津川市鉱物博物館友の会、多治見商工会議所、奈良教育大学ほか

減免申請

2021年度 22件（幼稚園1、小中高校引率11、特別支援学校等福祉施設4、大学引率3、その他3）

2022年度 33件（幼稚園・こども園3、小中高校引率8、特別支援学校等福祉施設13、大学引率3、その他6）

3. その他の利用

- 多治見市ボランティアガイド研修・見学会

日時／2021年5月18日 10：00～ 4月20日に座学の後、現地見学会を実施

- アートラボ岐阜「プロの講師がアドバイス！ アートのお悩み相談会」

日時／2021年10月31日 11：00～ 笠原中央公民館での座学の後に見学

- 多治見市教育研究所「土曜学習 わが町多治見大好き講座「タイル博士になろう」」

2022年1月15日 9：00～ 参加者／小学生 名、ボランティアガイド、教育研究所職員

2023年1月21日 9：00～ 参加者／小学生 名、ボランティアガイド、教育研究所職員

館内の見学、公民館で貼り子体験（丸万商会協力）、カネキ製陶所で工場見学（2022年度はコロナの影響で講座とワークショップに変更）

- 精華小学校 社会科見学会→出張授業に変更 2021年10月7日

協力：カネキ製陶所

- 中部大学人文学部歴史地理学科学生 卒業研究に関する聞き取り調査に協力 2021年11月7日

- 山梨県立大学 国際政策学部 国際コミュニケーション学科 兼清慎一ゼミ

見学・インタビュー 2022年7月2日 午後2時～

刊行物、印刷物

年報 第3号

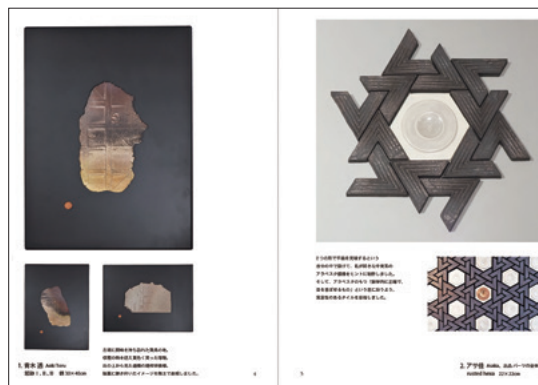


【記録集】企画展図録 「企画展 タイル考～陶芸の 視座より」



写真・デザイン/小寺克彦
発行/2021年6月30日
規格/A5版、80ページ

(内面見開き)



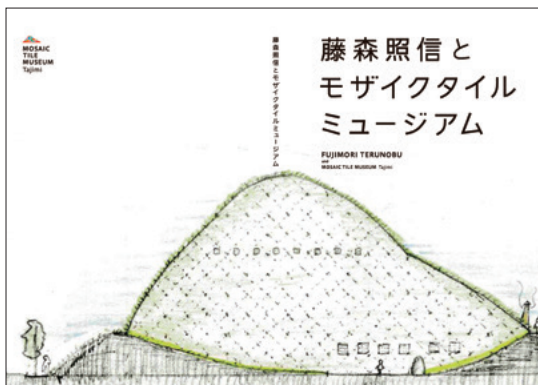
【記録集】リーフレット 「開館5周年記念展 コレクション探訪」



デザイン/上田英司、鬼川いおり (シルシ)
規格/A5版 (A3ポスター4つ折り)



【記録集】企画展図録 「藤森照信とモザイクタイルミュージアム」



発行/多治見市モザイクタイルミュージアム
編集・文/村山閑、村瀬良太
写真/増田彰久、小寺克彦、岩瀬有奈、児島章次
デザイン・制作/高橋佳介、森田和美 (株式会社クーグート)
発行/2021年9月16日
規格/A5版、88頁

【記録集】小冊子 『企画展「タイル」までのプロローグ』



編集・発行/多治見市モザイクタイルミュージアム
写真・デザイン/株式会社山田写真製版所
発行/2022年6月

チケット 「日本のタイル100年」



共通券500円

主な広報活動（2021年度 ※2022年度は次号掲載）

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル（内容）
2021年4月	開隆堂出版刊 文部科学省検 定教科書 中学校「美術1発 見と創造」	美術館へ行こう 建物とその空間を楽しむ
4月	岐阜県版 技術・家庭科ハンド ノート 家庭分野	岐阜県資料 今に残る昔の住まい
4月1日	日本文教出版刊 文部科学省 検定教科書用図書 中学校美 術科「美術1」	美術館を楽しむコツ コツ①外観をしてみる
4月9日	朝日新聞 夕刊	よみがえる丸栄のシンボル モザイクタイルの壁画 復元・公開
4月15日	Walker+（ウォーカープラス）	陶芸作家によるタイルの表現に注目、岐阜県多治見市で「タイル考 ～陶芸の視座より」開催
4月22日	Guidoor	膨大なモザイクタイルのコレクションを誇る美術館
4月27日	信濃毎日新聞	岐阜・多治見「タイル」テーマの作品展
5月11日	朝日新聞 夕刊	建モノがたり
5月15日	長寿社会開発センター発行情 報誌「PORTA」 岐阜ねりんぴっく2021号	岐阜 実はこれがNo.1
5月20日	天然生活 7月号	Information タイルの魅力を見つめ直す「タイル考～陶芸の視座より」
6月1日	陶業時報	作家が創る個性的なタイル
6月3日	朝日新聞	トッテやタイル テーマの企画展 多治見の2施設
6月4日	岐阜新聞 朝刊	モザイクタイルミュージアムきょう開館5周年 手堅い人気 来館63万人
6月4日	東濃新報	陶芸家がタイル“模索” 59人が自由な解釈で競作
6月4日	キルトジャパン 7月号・夏	日々是好日の手芸キット 多治見市モザイクタイルミュージアムを訪ねて
6月5日	読売新聞	タイルミュージアム5年 60万人突破 記念タイル3000人に
6月5日	中日新聞	多治見市モザイクタイルミュージアム5周年
6月13日	東急こすもす会 会報誌 「こすもす」夏号	時空を超え再生する「青」 染付タイル
6月16日	朝日新聞	タイル5年分でロゴ完成 多治見のミュージアム5周年 先着3千人に配布
6月25日	KAZE NETWORK NEWS vol.276	ライダーにお薦めの変った建物11選
6月25日	東濃新報	「未来のタイル」競う
6月25日	毎日新聞 夕刊	（有料広告）
6月26日	中日新聞	高校生タイルデザイン審査 畔上さんら優秀賞
7月1日	「ゆうゆう」8月号	美術館、博物館でわくわく&うっとり体験 好奇心を刺激する魅惑 のミュージアム
8月1日	広報たじみ tajimist 8月号	五施設共同展示の案内
8月1日	陶業時報	4面：国際陶磁器フェスティバル美濃'21 主なイベント 9面：昔も今もタイルとともに
8月20日	東濃新報	開館5周年を記念
8月21日	中日新聞	公共施設の利用制限広がる
9月1日	広報たじみ tajimist 9月号	セラミックバレーぐるっとパス対象6施設はココ！
9月17日	中部経済新聞	レトロで新しい美濃焼の町
9月18日	東海ウォーカー	イベントカレンダー 藤森照信とモザイクタイルミュージアム
10月1日	毎日新聞	（有料広告）藤森照信とモザイクタイルミュージアム
10月2日	中日新聞	メイン会場以外も開幕 4市6施設多彩な事業
10月2日	信濃毎日新聞	藤森照信さんが設計 ミュージアム企画展
10月8日	東濃新報	ギャラリーマイタウン
10月10日	旅の手帖 11月号	フジモリ建築の魅力とそのディテールに迫る

掲載年月日	誌名・サイト名	タイトル（内容）
2021年	多治見 下街道マップ	（モザミュの紹介）
11月14日	岐阜新聞	探訪ぎふトリビア 不思議な外観にタイルへの愛
11月26日	CENTURION 冬号	建築デザインそのものがアート作品でもある、世界を魅了するミュージアム。
11月26日	東濃新報	設計者の藤森さん語る モザイクタイルミュージアム 企画展に合わせ記念対談
12月20日	みのEDO 225号	多治見市モザイクタイルミュージアム開館5周年記念展&記念対談
2022年1月	KISSO 121号	生産量全国一を誇る多治見市笠原町のモザイクタイル
1月1日	広報たじみ tajimist 1月号	未来のタイルコンペティション 応募作品展
1月12日 (LINE)/1 月14日（電 子メール）	大垣共立銀行 ホームページ 「Ohisama Marché （おひさまマルシェ）」	地域を旅して
1月16日	朝日新聞	「未来のタイル」コンペ、県内から入賞の小学生と高校生を表彰
1月16日	岐阜新聞	「未来のタイル・コンペティション」優秀デザインを試作 畔上さん（多治見工高）の作品紹介 多治見市
1月19日	岐阜新聞	タイル並べ職人技学ぶ 多治見市で児童向け講座
1月21日	中日新聞	畔上さん、伊藤君を表彰 国際陶磁器フェスのタイルコンペ
1月21日	東濃新報	「タイルの未来」を提案 コンペ応募作品展始まる
1月24日	縁結び大学	【岐阜県】モザイクタイルの魅力が満載！「多治見市モザイクタイルミュージアム」を中心に巡るデートプラン
2月15日	中日新聞 朝刊	中部新時代2022 特集ページ（広告） 多治見市/タイル名称統一 百周年
2月23日	中日新聞	銭湯で刺激 モザイクタイル見て 京都のアーティスト多治見で企画展
3月	ぎふの旅ガイド	これは見ておきたい！岐阜にある美しい現代建築9選
3月4日	中外日報	ミュージアム探訪 モザイクタイルミュージアム 地元産品など1万点並ぶ
3月6日	岐阜新聞	本物そっくり“ミニタイル” 収集品を絵の具で模写、再構成
3月7日	Discover Japan WEB	まちとタイルの新しい風景をつくる 《多治見市モザイクタイルミュージアム》
3月8日	岐阜っぽ。春号 Vol.41	すてきな人がいるまちに 色鮮やかな陶磁器の町・多治見
3月11日	東濃新報	タイルを独自に“再現” こだんさん「銭湯幻視」展
3月23日	朝日新聞	銭湯の魅力 モザイクタイルで
3月24日	じゃらん 大人のちょっと贅沢な旅2022-2023春夏号 綴込み付録	大人の「ひとり旅」、はじめませんか？
3月26日 (紙面)	マイタウンとうと MYTTLINE (マイティーライン)	企画展：モザイクタイルコレクションの宝庫 その他：タイル名称統一100周年
3月31日	中日新聞	タイルみつけ 多治見のミュージアム探訪
3月28日	みのEDO 226号	p6：銭湯幻視展 p7：プロローグ展
2022年	ミナモオフィシャルサイト「ミナモTV」、ミナモチャンネル	ミナモといっしょに、おうちミュージアム

放送年月日	局名	番組名	タイトル（内容）
4月16日 22:30～	BS11	アニゲー☆イレブン！ #285	（やくもの声優が出演する）
11月27日 (リピート放送も予定)	ケーブルテレビ・ キャッチネットワーク	東海の肖像	暮らしを彩る土の温もり モザイクタイル
2022年2月木曜日4回	FMPiPi	たじみふるさとウォーカー	企画展及び2階動画紹介
2022年3月18日 12:40～ (生中継)	FMPiPi	PiPiっとcafé	突撃たじみの昼休み

組織

多治見市モザイクタイルミュージアム組織構成（2021、2022年度）

一般財団法人たじみ・笠原タイル館

代表理事 水野雅樹

理事 8名

監事 2名

評議員 3名

顧問 1名

事務局 3名

プロジェクト会議 8名

コンシェルジュスタッフ 1名

（2022年12月から研修スタッフとして1名）

多治見市モザイクタイルミュージアム指定管理者
（一般財団法人たじみ・笠原タイル館）

館長 水野雅樹

事務局長 1名

総務管理グループ 嘱託職員 1名

展示事業グループ 職員（学芸員） 1名

嘱託職員 1名

サービス交流グループ 嘱託職員 3名

臨時職員（アルバイト）

モザイクタイルミュージアム

資料整理員（アルバイト） 2名

建築概要

設計・デザイン 藤森照信

建築・監理／藤森、エイ・ケイ、エース設計共同体

構造／織本構造設計

設備／a&A設備設計

電気／井上電機設計室

建築施工／吉川・加藤・櫻井特定建設工事共同企業体

設備施工／五十嵐・大和特定建設工事共同企業体

電気／小境・林特定建設工事共同体

・敷地面積 ／ 3,558.85㎡

・建築面積 ／ 793.95㎡

・延床面積 ／ 1925.02㎡

・建築物高さ／ 19.416m

・建物用途 ／ 博物館

・構造規模 ／ 鉄筋コンクリート造（地上4階）

・付帯施設 ／ タイル広場（約3,000㎡）

文化スポーツ課所管

・展示面積 ／ 2階 170.80㎡

（産業振興エリア）

3階 展示室2 180.31㎡

ギャラリー 66.42㎡

4階 展示室1 228.25㎡

展示面積合計 645.78㎡

工房 94.09㎡

ショップ 48.65㎡

館内収蔵庫 41.79㎡

条例

多治見市モザイクタイルミュージアムの設置及び管理に関する条例

平成26年 9 月29日条例第27号
改正 令和元年 6 月28日条例第12号

(設置)

第1条 タイルの歴史及び文化に関する資料を収集し、保存するとともに、これを広く一般に公開し、タイルの魅力を周知することにより、市民文化の向上及び産業振興に資するため、多治見市モザイクタイルミュージアム（以下「ミュージアム」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第2条 ミュージアムの名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 多治見市モザイクタイルミュージアム
- (2) 位置 多治見市笠原町字古御所2082番地の5

(事業)

第3条 ミュージアムは、次に掲げる事業を行う。

- (1) タイルの歴史及び文化に関する資料の収集及び保存並びに展示
- (2) タイルの歴史及び文化に関する調査研究及び普及啓発
- (3) タイル産業の振興に資する情報収集及び情報発信
- (4) その他第1条に規定する設置目的の達成に必要な事業

(指定管理者による管理)

第4条 ミュージアムの管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条各号に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) ミュージアムの観覧及び利用の許可に関すること。
- (3) ミュージアムの管理に関すること。
- (4) 観覧料（第7条第1項に定める観覧料をいう。）及び利用料金の収受に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認めること。

(開館時間等)

第6条 ミュージアムの開館時間及び休館日は、規則で定める。

(観覧料)

第7条 ミュージアムの展示を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の範囲内において指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める額（以下「観覧料」という。）を納入しなければならない。

2 観覧料は、その都度納入しなければならない。ただし、指定管理者が特に必要と認めたときは、この限りではない。

(観覧料の収入)

第8条 地方自治法第244条の2第8項の規定により、市長は、観覧料を指定管理者の収入として収受させるものとする。

(資料の貸出し)

第9条 指定管理者は、別に市長の定めるところにより資料の貸出しを許可することができる。

- 2 前項の規定により貸出しの許可を受けた者は、許可を受けた目的以外に資料を使用し、又はその使用の権利を他人に譲渡し、若しくは転貸してはならない。

(撮影等の許可)

第10条 指定管理者は、別に市長の定めるところにより、資料の撮影、模写、模造、図書（ホームページ、配布目的のための光ディスクその他の電子媒体等を含む。）への掲載及び閲覧（以下「資料の撮影等」という。）を許可することができる。

- 2 前条第2項の規定は、前項の規定による資料の撮影等の許可を受けた者について準用する。

(研修工作室及びギャラリースペースの利用申請及び許可)

第11条 ミュージアムの研修工作室及びギャラリースペース（以下「研修工作室等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者に申請し、その許可を受けなければならない。

- 2 指定管理者は、前項の許可に、研修工作室等の管理上必要な条件を付すことができる。
- 3 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）がその許可に係る事項を変更しようとするときも、前2項と同様とする。

(目的外使用)

第12条 市長は、研修工作室等をその目的又は用途を妨げない限度において、目的外に使用させることができる。

- 2 前条から第21条まで（この条、第14条後段及び第17条を除く。）の規定及び別表第2の規定は、前項の規定により研修工作室等を目的外に使用させる場合について準用する。この場合において、前条第1項中「利用」とあるのは「使用」と、「指定管理者」とあるのは「市長」と、同条第2項中「指定管理者」とあるのは「市長」と、同条第3項中「利用者」とあるのは「使用者」と、次条中「指定管理者」とあるのは「市長」と、「利用」とあるの

は「使用」と、第14条中「利用者」とあるのは「使用者」と、第15条第1項中「指定管理者」とあるのは「市長」と、「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、同条第2項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「市及び指定管理者」とあるのは「市」と、第16条第1項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める利用料金」とあるのは「使用料」と、同条第2項中「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、「利用料金」とあるのは「使用料」と、「指定管理者」とあるのは「市長」と、第18条中「観覧料及び利用料金」とあるのは「使用料」と、「あらかじめ市長と協議の上、指定管理者」とあるのは「市長」と、第19条中「指定管理者は、市長が別に定めるところにより」とあるのは「市長は、公益上その他特別の事由があると認めるときは」と、「観覧料及び利用料金」とあるのは「使用料」と、第20条中「利用者」とあるのは「使用者」と、「利用を」とあるのは「使用を」と、「利用の」とあるのは「使用の」と、第21条中「利用者」とあるのは「使用者」と、別表第2中「利用料金」とあるのは「使用料」と、「利用時間」とあるのは「使用時間」と読み替えるものとする。

(利用の制限)

第13条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、資料の貸出し、資料の撮影等及び研修工作室等の利用を許可しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設、器具等又は資料を毀損又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) その他ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

(権利譲渡等の禁止)

第14条 第9条第2項の規定は、利用者について準用する。この場合において、同項中「使用」とあるのは、「利用」と読み替えるものとする。

(利用の許可の取消し等)

第15条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、その利用の許可を取り消し、又は利用の停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により利用の許可を受けたことが明らかになったとき。
 - 2 前項の規定の適用によって利用者が受けた損害については、市及び指定管理者は、その責めを負わないものとする。

(研修工作室等の利用料金)

第16条 利用者は、別表第2に定める額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定める利用料金を納入しなければならない。

- 2 利用者は、利用の許可を受けたときに利用料金を納入しなければならない。ただし、指定管理者がやむを得ない事由があると認めたときは、この限りではない。

(利用料金の収入)

第17条 第8条の規定は、前条第1項の利用料金について準用する。

(観覧料等の還付)

第18条 既納の観覧料及び利用料金は還付しない。ただし、あらかじめ市長と協議の上、指定管理者が特に必要と認めたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(観覧料等の減免)

第19条 指定管理者は、市長が別に定めるところにより、観覧料及び利用料金を減免することができる。

(原状回復の義務)

第20条 利用者は、研修工作室等の利用を終えたときは、直ちに原状に回復しなければならない。第15条第1項の規定により許可を取り消され、又は利用の停止を命ぜられたときも同様とする。

(遵守義務)

第21条 ミュージアムに入館する者及び利用者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、器具等又は資料を毀損しないこと。
- (2) 他人に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 許可無く写真撮影等をしないこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長及び指定管理者が指示する事項

(損害賠償の義務)

第22条 施設、器具等を毀損し、又は滅失したときは、損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めた場合は、この限りではない。

(入館の制限)

第23条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (2) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められる者
- (3) その他ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(委任)

第24条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

利用案内／アクセス

開館時間／午前9時～午後5時（ご入館は閉館の30分前まで）

休館日／月曜日（休日の場合は翌平日） 年末年始（12月29日～1月3日）

観覧料

※3、4階展示室入場には下記観覧料が必要です。

※2階のみご利用の場合はお申し込みが必要です。

※1階、2階をご利用の方も必ず受付にお申し出ください。

※金額は2019年10月からの新料金で表示しています。

■個人 310円

■団体（20名以上） 250円

- ・高校生以下は無料（学生証のご提示で無料になります）
- ・療育手帳、身体障害者手帳、精神障害者手帳をお持ちの方、及び、その付き添いの方1名は無料。
- ・企画展は別に定めることがあります。

■年間パスポート 1,020円

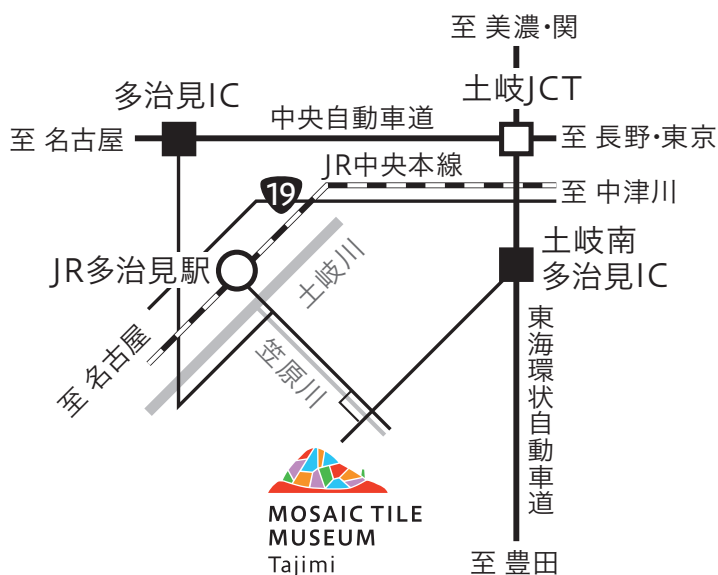
アクセス

■公共交通機関

多治見駅南口を出て、「多治見駅前」2番バスのりばから東鉄バス笠原線『東草口行き』または『羽根行き』に乗車、「モザイクタイルミュージアム」下車。（駅からの所要時間／約17分）

■自動車

多治見ICから約25分。土岐南多治見ICから約15分



多治見市モザイクタイルミュージアム 年報 第4号

編集・発行 一般財団法人たじみ・笠原タイル館

2023（令和5）年3月31日

〒507-0901 岐阜県多治見市笠原町2082-5

多治見市モザイクタイルミュージアム内

電話 0572-43-5101

FAX 0572-43-5114

URL <http://mosaictile-museum.jp>

制作 株式会社山田写真製版所

